日 時 令和6年10月31日(木) 18時30分 ~19時30分

場 所 八幡崎地区

対象地区 八幡崎

参加人数 13名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○八幡崎地区農業研修センターの改修または改築について</p> <p>(市民から)</p> <p>八幡崎地区農業研修センターは築41年となる。今後改修または改築が行われると思うが、今後のスケジュールについて教えて欲しい。また、改修または改築の際にエアコンもあわせて設置して欲しい。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・30年以上の建物は改修、50年以上の建物は改築となっている。・当該センターは築41年となっており、改築する場合は後9年待つ必要がある。また、改築の場合、最大300平米となるため、現状から16坪ほど狭くなる。・現在の予定では令和10年に設計し、11年に改修を考えている。・エアコンの設置については、設置条件等を検討している。11月19日の行政連絡会議において示したい。 <p>(市民から)</p> <p>広間の広さなど要望がある。地域の実情を反映することは可能か。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・設計事業者との打ち合わせの際に示してもらいたい。 <p>(市民から)</p> <p>事前に町会宛にアンケート調査があったが、回答期間が短く、町会内での意見がまとまらなかった。改めて改修か改築の要望を出すことは可能か。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・今後、正式に連絡を行う。・改築の場合、150世帯で300平米という基準となっている。改築等の順番が来たら、改めて相談したい。
<p>○県道の歩道の付け替えについて</p> <p>(市民から)</p>

以前よりお願いしている県道の歩道の付け替えについて、今年の春に県から資料提出の連絡があった。その後どうなったか状況を確認したい。

(市から)

- ・以前より要望をいただいております、中々進まず申し訳ない。
- ・業務を担当している県中南県民局より、来年度の実施に向けた予算要求を行う旨の情報提供があった。決定事項ではないが、実施されることとなれば直ぐに連絡する。
- ・実施となれば測量や用地買収等、住民の協力が必要不可欠であることから、町会のご協力をお願いします。

○コミュニティ助成事業について

(市民から)

コミュニティ助成事業について、毎年申請をして、採択されるかどうか分からない。偏り生じないように割り振りをしていると思うが、それであれば年度ごとに町会を割り振った方が良いのではないか。町会としても、毎年見積を取るのも負担である。

(市から)

- ・事前に町会を割り振ってはとのことだが、自治総合センターの判断となるため、事前に割り振りをするというのが難しい。特に昨年よりエアコンの設置については、助成の対象外になったこともあり、申請しない町会も見受けられる。
- ・採択されるかどうかは、平等性を確保してのことと思われるため、ご理解をお願いしたい。

(市民から)

コミュニティ助成事業は一般コミュニティ助成事業として 150 万円、地域防災組織育成事業として 100 万円の限度額がある。これらをついにまとめることはできないか。

(市から)

- ・あくまで別々の事業であるので、まとめることはできない。

○公共交通について

(市民から)

高齢者の交通手段がない。駅に行くにも距離があり、乗合タクシーについても、乗車場所が限られており、そこに行くまで距離がある。市の方で何とかバスを運行して欲しい。

(市から)

- ・交通弱者の足の確保は課題の一つである。弘南バスが撤退することで、より交通が不便

になるものと認識している。

- ・市では、新たな交通手段として AI を利用したデマンド交通を開始予定である。従来の循環バスや乗合タクシーの停留所が 143 か所であったが、AI デマンドの場合、267 か所の停留所を設置し、以前より利用しやすくなった。
- ・AI デマンド交通は 12 月 1 日から開始予定である。八幡崎、西野曾江には 5 か所の停留所が設置される。
- ・現在、説明会を実施しており、町会向けにも今後行っていくので是非参加していただきたい。

○害獣駆除について

(市民から)

アナグマが畑近くを歩いているのをよく見かける。害獣駆除のため、農林課に相談したところ、捕獲用の罠の貸借はあるが、エサ等はこちらで負担するよう回答があった。

個人で罠を設置しても、効果が薄いように思う。市の方で広域に実施してもらいたい。

(市から)

- ・罠の設置については狩猟免許が必要となるため、免許を所有する職員が罠を設置しているが、罠に使用する食料等をご負担いただくこととなる。
- ・アナグマの数が多く、現在罠が不足している状況であり、広域での対応には限度があるのでご理解いただきたい。

○防犯について

(市民から)

首都圏において、闇バイト等の強盗事件が多発している。まだ首都圏の話ではあるが、将来青森県でも発生してもおかしくはない。平川市の防犯カメラの設置状況はどうか。

(市から)

- ・将来、青森県でも闇バイト等の事件が発生する可能性があるが、具体的な対策は現時点では難しい。
- ・防犯カメラは市内に設置されている箇所はあるが、ゴミの不法投棄対策のものも多い。
- ・都市部のように至る所に防犯カメラが設置されているという場所はない。
- ・駅前や公共施設には防犯カメラが設置されている。
- ・道路等へ設置している防犯カメラは警察の管理となるため、市では把握はしていない。

○平川サガリについて

(市民から)

平川サガリについて、平川市民でもサガリとハラミの違いが分からない人も多い。広報

ひらかわのコラムでも紹介してもよいのではないか。

(市から)

- サガリとハラミはそれぞれ横隔膜の部位であり、部位がそれぞれ違うものである。
- 横隔膜と言うとどうしても内蔵のイメージが強い。例えば子どもたちに横隔膜であることを伝えたことで、そうしたイメージにより忌避されても困るので、詳細を周知することは慎重に対応したい。